

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

### 事業名 関ヶ原古戦場整備活用事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光資源活用課 活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3073)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 40,000 千円 (前年度予算額：40,000 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000
要求額	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国内外に高い知名度を誇る関ヶ原古戦場を、戦国をテーマとした広域周遊観光の核として整備し、観光資源として磨き上げを図る。

そのため、関ヶ原町が実施する受入環境整備、誘客PR、拠点整備、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを支援する。

### (2) 事業内容

関ヶ原町が実施する「関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組み」に要する経費の一部を助成する。

#### 【補助対象経費】

関ヶ原町が実施する受入環境整備、誘客PR、拠点整備、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みに要する経費

#### 【補助対象者】

関ヶ原町

### 【補助率・補助限度額】

- 補助率 県 2/3、町 1/3（誘客促進事業及び施設整備事業）
- 県補助限度額 予算の範囲内

### （3）県負担・補助率の考え方

関ヶ原古戦場を核とした広域周遊観光の推進は、「岐阜県成長・雇用戦略」において観光産業の基盤産業化プロジェクトの筆頭項目に位置づけられており、県として重要度が高いことから、県補助率を 2/3 とする。

### （4）類似事業の有無 有

戦国観光推進事業費補助金  
(本事業との役割分担)

本補助金が関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを行う関ヶ原町を支援するのに対し、戦国観光推進事業費補助金は戦国武将をテーマとした広域周遊観光を促進する市町村の取組みを支援するものである。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	40,000	関ヶ原古戦場の整備活用に要する経費に対する助成
合計	40,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （1）各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想中間見直し

#### 1 新たな「成長・雇用戦略」の展開

（1）岐阜県成長・雇用戦略 具体的な施策 ②観光分野

○「おもてなし」の観光産業づくり ◇観光資源の魅力向上

岐阜県成長・雇用戦略 2017「観光産業の基幹産業化プロジェクト」

岐阜県観光振興プラン

### （2）後年度の財政負担

令和 7 年度まで継続予定。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	関ヶ原古戦場整備活用事業費補助金
補助事業者（団体）	関ヶ原町 （理由）史跡関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを支援するものであることから、国指定史跡の所在する関ヶ原町に限定される。
補助事業の概要	（目的）関ヶ原古戦場を広域周遊観光の核として整備すべく観光資源として磨き上げを図る。 （内容）関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みに要する経費の助成
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）県 2/3 （理由）県補助率を 2/3 とし、受益者負担を求める。
補助効果	関ヶ原古戦場が広域周遊観光の核として整備される。
終期の設定	終期令和 7 年度 （理由）グランドデザインに基づいた令和 3 年から令和 7 年までの 5 年間の関ヶ原古戦場に係る取組方針に基づき支援を行うため。

(事業目標)

関ヶ原古戦場への来訪客数を令和 7 年までに 30 万人に増加させる。 ※基準値：10 万人（平成 26 年）
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R26 年)	目標	終期目標 (R7 年)
① 関ヶ原古戦場来訪客数	10 万人	/	30 万人

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	67,363 千円	75,385 千円	75,081 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	平成26年度に策定した関ヶ原古戦場グランドデザインに基づき、史跡整備・史跡ガイドの養成・特産品開発などを実施し、関ヶ原古戦場入込客数は平成26年10万人から令和元年は16万人と増加した。(令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により減少12.8万人) 指標① 目標：30万人 実績：13万人 達成率：43.3%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	事業実施主体は関ヶ原町であるが、これまで関ヶ原古戦場グランドデザインに基づき県と町で協力して整備等に取り組んできた経緯から、引き続き支援する必要がある。
<p>・事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	関ヶ原古戦場入込客数は平成26年10万人から令和元年は16万人と増加した。令和2年10月に関ヶ原古戦場周遊観光の拠点として岐阜関ヶ原古戦場記念館が開館したが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年は減少した。
<p>・事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	史跡の管理・整備主体である関ヶ原町への補助により主体性が保たれているとともに、作業や時間等の効率化が図られている。

(今後の課題)

史跡や受入環境の整備はおおよそ完了したが、誘客PRなどソフト面の強化を実施する必要がある。
---

(次年度の方向性)

岐阜関ヶ原古戦場記念館を核とした広域周遊観光を実現するため継続した支援が必要。
---